昭和40年9月9日第三種郵便物認可（毎週一回金曜日発行）

1970年9月11日　第239号

☆帝国主義国、後進国、「労働者国家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟

9月11日
週刊
第239号
有料発行人　堀江　弟
一部　20円
購読料　年間2000円（平共）

戦旗

戦旗社
東京都千代田区三崎町2-9-18 東京ビル7階 〒101 電話(262)1457
大阪市西区阿波座1-6-7 〒550 電話(06)(581)0025
名古屋市東区泉2-2-30 〒461 電話(962)1457
福岡市博多区上呉服町10-25 〒812 電話(28)6075

9・18　反帝戦線決起集会

9・19　防衛庁闘争

9・19防衛庁一全国基地闘争に総進撃せよ！

戦略論―戦略の深化を踏まえ
今秋闘争で党の飛躍を獲ち取れ

9・8中曾根訪米阻止を現地で頷導
混迷する諸党派を解体し反帝統一戦線の再編を

9・7中曾根訪米阻止闘争罩独で
四次防粉砕から重なる叛闘争へ

9・6八郎潟基地建設阻止闘争
AIF東北の地で今秋闘争の口火切る

9・18反帝戦線決起集会
城東公会堂（亀井戸駅下車）
午後6じ

9・19防衛庁闘争
清水谷公園三・一結集
主催　9・19叛軍闘争実行委員会

9・17破防法裁判弾劾集会
☆講　演　井上正治弁護団長他
経過報告・浅田光輝立正大教授
アピール・被告団
決意表明・共産同・革共同
☆主　催　破防法裁判闘争を支える会（準）
☆月日　9月17日午後六時
☆会　場　豊島公会堂

9・18破防法第二回公判
国電・地下鉄池袋駅東口下車
東京地裁前結集

地区集会スケジュール
14日　西部地区反帝戦線総決起集会
六時　幡ケ谷区民会館
16日　北部叛軍行動委員会結成大会
六時　立教大学五号館　四三六番教室
神奈川地区反帝戦線総決起集会
六時　横浜市開港記念会館

好評発売中！
共産主義
復刻版（1～3号）
＜上　巻＞
980円
回戦旗社　振替九五七四〇
回吉祥寺ウニタ
住所　武蔵野市吉祥寺東町三―一〇―七
TEL（0422）二二―一八八九

四次防にみる軍事外交路線

帝軍解体の七〇年型構造の一環
地区叛軍行動委を創出せよ！

地区叛軍行動委員会を建設し

自衛隊解体―正規軍創出へ進撃を

日本反帝戦線

本稿では、我が国の軍事外交路線における、いわゆる「四次防」の問題点を、特に、その軍事的側面に焦点をあてて、明らかにしようとするものである。

日帝の基本戦略―軍事外交路線

日帝の独占資本家階級とその政治代表は、現在、「日本の経済力をもってすれば、軍事力の増強は容易である」として、軍事力の増強を、日帝の国際的地位の向上のための基本的な手段としてとらえている。

しかし、日帝支配階級は、軍事力の増強を、単純に、軍事力だけで、アジアを制圧しようとしているのではない。

日帝は、米帝の世界戦略の一環として、アジアにおける反革命の軍事的な中心勢力としての役割を、日帝に与えようとしている米帝の意図を、十分に利用しながら、日帝自身の軍事力の増強を、米帝の世界戦略の枠内に、とどめようとしているのである。

日帝は、米帝の世界戦略の枠内で、日帝自身の軍事力の増強をはかるために、日米安保体制を、日帝の軍事力増強のための、基本的な枠組として、位置づけようとしているのである。

日帝は